

いつの時代でも、人々は人生や大切な人を思い、幸福を切望し、追求してきました。そうした思いを大切にするため、私は、区長就任以来一貫して、誰もが幸福を実感できる地域社会を目指して全力で取り組んで参りました。この、私が理想とする社会は、一人ひとりが個性や能力を発揮し、光り輝く社会でもあります。その実現には、お互いが違いを認め合い、思いやり、助け合っていくことが最も重要であり、それは荒川の地に息づく温かい心と共通しています。

今、我が国では、家族のあり方やコミュニティを取り巻く状況が変化し、高齢者や障がい者、子ども等、社会的に弱い立場の方々を支える力の低下が指摘されております。特に近年、虐待により子どもの健やかな成長が阻害され、尊い命が失われる事件が相次いでいることは、憂慮に堪えません。

こうした課題に対し、住民に最も身近な存在である基礎自治体が、子どもを護るための権限と責任を有する児童相談所を整備・運営し、地域で子どもの安全と健やかな成長を支えるべきと考え、その実現に向けて精力的に取り組んで参りました。こうした取り組みを機に、これまで以上に、区政の各分野で多くの区民の皆様のお力



▲施政方針を述べる西川区長

西川区長は、2月13日、令和元年度荒川区議会定例会・2月会議の冒頭で、今後の区政運営の方向と令和2年度予算の編成方針・主要施策について、所信を述べました。

問合せ

総務企画課企画係 ☎内線2111

幸福実感予算

区民の安心と元気を育む

をお借りしながら、地域力の輪をさらに広げ、すべての区民の皆様を優しく包み込み、笑顔を灯す施策を推進して参ります。

令和2年度予算は、このような思いで施策を具体化したものです。次代を担う子どもの成長を見守る取り組みをはじめ、暮らしを支え、安全・安心を確保する取り組みや、生活に潤いをもたらす、街の活力を高める取り組み等、各分野において区民サービスのさらなる充実を図れるよう、より一層邁進して参ります。

区が実施する取り組みは、実を結ぶまでに歳月を要するものもあります。今、蒔いた種が将来、区民の皆様の幸福という実を結ぶよう、未来を見据え、今すべきことをしっかり行っていくことが、「一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる国でありたい、街でありたい」という願いが込められた、令和の時代に生きる私たちの使命でもあります。

私は、本年も、そのような思いの下、区民サービスの充実と質の向上に向けて、精一杯取り組んで参りますので、より一層のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。(要旨)

【令和2年度予算案の詳細は2・3面】

